

<報道関係各位>

2012年4月5日  
イオンディライト株式会社

～ 快適な環境でお客さまの節電対策をサポート ～  
**イオンディライトグループ BEMSアグリゲータに採択**

イオンディライト株式会社（本社：大阪市、代表取締役社長：梅本和典、以下「イオンディライト」）は、経済産業省・資源エネルギー庁の外郭団体である一般社団法人環境共創イニシアチブ（略称：S I I）（注1）が募集した「エネルギー管理システム導入促進事業費補助金」（BEMS導入事業）において、BEMSアグリゲータに採択されました。

BEMSアグリゲータは、契約電力が主に50kW以上、500kW未満である高圧小口需要家の中小ビル等に対して、建物のエネルギー使用量を見える化するBEMS（ビルエネルギーマネジメントシステム）を導入するとともに、クラウド等による集中管理システムを設置し、省エネを管理・支援するエネルギー利用情報管理運営者です。本事業の目的は、BEMSを活用した消費電力の見える化だけでなく、コンサルティング・サービスによる、お客さまの抜本的な節電を実現することに加え、万一、電力逼迫状態になった際は政府の要請に応じてデマンド制御など更なる節電対策を行う体制を構築することにあります。本事業は当社を中心に、当社グループでコンビニエンスストアや飲食店など小型店舗のトータル管理サービスを提供するエイ・ジー・サービス株式会社をBEMSの販売店と位置づけ体制を構成しております。（詳細は次頁をご参照ください）

イオンディライトは、お客さまの管理・運営にかかわる業務を一括してお引き受けする総合ファシリティマネジメントサービス（総合FMS）事業（注2）を展開しております。その主力事業の一つである環境事業では、建物の快適性を保ちながら、お客さまの省エネ目標を達成するため、省エネに関わる設備投資の提案、施工や保守メンテナンスまで包括的かつ一貫したサービスを提供しております。本年1月には、これまでの様々な省エネに対する取り組みと、その成果が評価されて平成23年度省エネ大賞（省エネ事例部門）において、経済産業大臣賞・節電賞を受賞いたしました。また3月に、電力使用量など収集したデータの分析や、機器制御の検証を専門に行う機能を構築するため、大学の研究機関と協同でイオンディライトインテリジェンスセンターを社内に設置いたしました。この度のアグリゲータ採択を機会に、4月からは小規模施設でもBEMSの投資回収期間が2年以内になる導入プランを積極的に提案し、お客さまのBEMS導入コストを大幅に低減するとともに、エネルギー削減実績をもとに更なるソリューション営業を強化してまいります。なお、この補助事業期間中（2年間）にBEMSの新規契約1,500件の導入を目指してまいります。

イオンディライトグループは国内で培ったBEMS、エネルギーマネジメントのノウハウと実績をもとに今後は中国やアセアン地域など海外拠点でも環境事業を展開し、お客さまのニーズを満たす新たな環境価値の創造に積極的に取り組んでまいります。

（注1）一般社団法人環境共創イニシアチブ（略称：S I I） <http://sii.or.jp/>

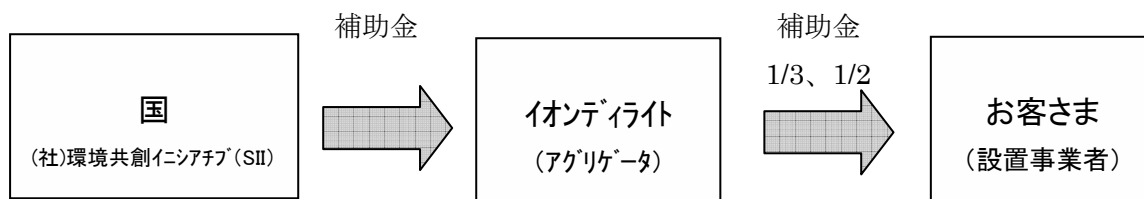
（注2）総合ファシリティマネジメントサービス（総合FMS）事業とは、お客さまの管理・運営にかかわる業務を一括してお引き受けし、経営戦略上重要な事業に専念できる環境をご提供するサービスです。総合FMS事業を展開するイオンディライトグループは、国内外を含め600以上あるサービス拠点に設備管理、清掃、警備、建設施工、資材関連、自動販売機などの主力事業に関する豊富な知識と経験を有する技術者やスタッフを配置し、業界随一のネットワークを構築しています。

— 本リリースに関するお問い合わせ先 —  
イオンディライト株式会社 デイライトコミュニケーション部  
TEL：043-351-2563 FAX：043-351-2651

— サービスに関するお問い合わせ先 —  
イオンディライト株式会社 環境ソリューション部  
TEL：043-297-1398 FAX：043-297-1067

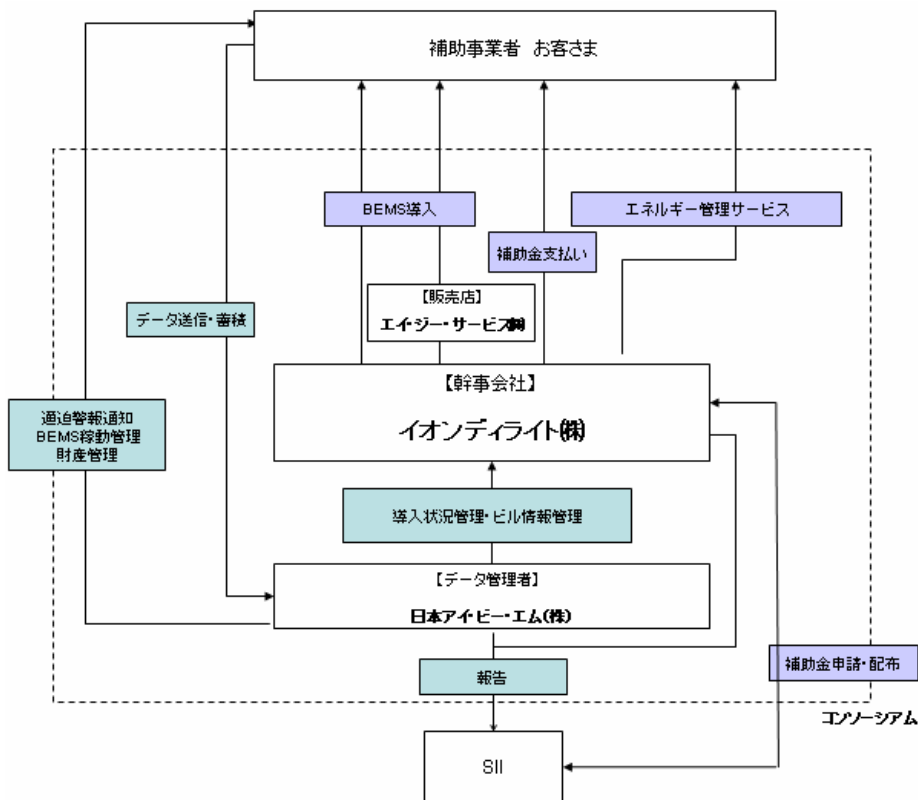
ご参考

【補助金支給スキーム】



※ 当社はアグリゲータとしてお客さま（設置事業者）へ、補助金申請を含めた導入工事を施工して BEMS や省エネ機器の導入を行います。

【BEMS補助事業コンソーシアム体制図】



【イオンデライトグループのBEMS（ビルエネルギーマネジメントシステム）】

お客さまの電気エネルギーを監視・制御・見える化し、CO2 排出量削減に寄与する環境負荷低減提案を総合的にご提案します。

